

## Retekess相談窓口

メールアドレス: support@retkess.jp

平日9: 15~12: 00/13: 00~17: 30

(土・日・祝日・年末年始・GW・夏期休業等を除く)

## 製造元

Henan Eshow Electronic Commerce Co.,Ltd

正式ウェブサイト<http://retkess.jp/>

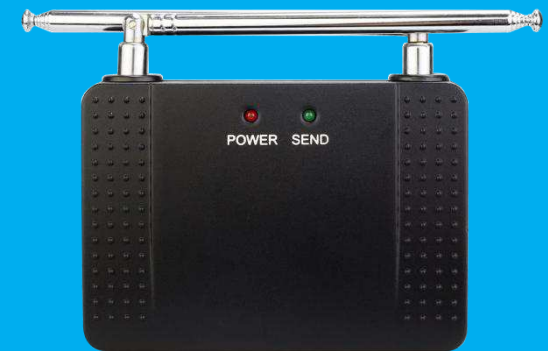
YouTube: 【公式】RetekessJP「レテケスー」

Twitter: @JPRetekess

Instagram: retkessjp

# RETEKESS

## TD021 Wireless Repeater User Manual



## 概要

コンバーターは、データを送受信するためのワイヤレスデバイスです。転送される信号は、次の2つの要件を満たす必要があります。

1. リピーターと同じ受信周波数。
2. リピーターの受信部の発振抵抗を一致させます。現在サポートされている信号モードはPT2240 / 1.8Mです。

このリピーターは、距離に達していない場合、3つのリピーターをカスケードできます。リピーターには学習機能があり、100個の送信機を保存できます。これにより、一部の信号を交互に転送して、他の無関係な信号からの干渉を回避できます。

## 製品パラメータ

動作周波数: 433.92MHz

動作電圧: DC12V

静止電流: 30mA

動作電流: <255mA

受信感度: -108dBm

送信電力: 500mW (オープンフィールドでの発射範囲は約1500m)

## マーキング指示



スイッチを上げるとONになります  
スイッチを下げるとオフになります  
■黒い部分はハンドルの位置を意味します

**POWERインジケータライト:** パワーライト

**SENDインジケータライト:** トランジットライト。

信号を通過するとオンになります。

**8ビットダイヤルスイッチ:** シェルの下部にある各ダイヤルコードスイッチには、オンとオフの2つの状態があります。ダイヤルコードスイッチにマークがあります。各ダイヤルコードスイッチの機能を確認してください。

**最初のスイッチ:** オンの位置では、リピーターがカスケード接続されたときに最初の位置が表示されます。

**2番目のビット:** オンの位置では、リピーターがカスケード接続されたときに2番目の位置が表示されます。

**3番目のビット:** オンの位置では、リピーターがカスケード接続されたときに3番目の位置が表示されます。

**4番目のビット:** リピーターの4番目のビットと6番目のビットの両方がオンの位置でオンの位置にあるときに、学習したりリモコンを押します。ライトが3回点滅して、この方法のリモコンをクリアします。複数のリモコンを学習したときにクリアすると非常に便利です。

**5番目のビット:** 通過間隔を制御します。これは、オフ状態の場合は約6秒です。(4~6個のリピーターカスケードに適しています)

**6番目のビット:** ON位置では、学習されたエミッターのみが転送されます(同じ場所に3つ以上のリピーターがある場合、この位置はON状態である必要があります)。この位置がオフ状態の場合、一致する送信信号を中継するための学習は必要ありません。

**7番目のビット:** 学習するとき、この位置はオン状態である必要があります。通常の操作では、この位置はオフ状態になります。

**8番目のビット:** テストビット。ON状態に設定すると、リレーは継続的に (PT2262 1.2m) 信号を送信します。通常の操作では、この位置はオフ状態になります。

## 取扱説明

1. リレー位置の設置: 信号を中継する場合は、中継する信号と受信機の間、リレーを配置し、転送される信号の強さに応じて配置してください。リレー位置を調整した後、レシーバー位置を再度調整する必要があります。

2. リレー信号カスケードモードの設定: DC12V POWER電源に接続し、POWERインジケータが点灯し、リレーが通過状態になります。リピーターが1つしかないため、通過速度が速い場合は3つのダイヤルスイッチすべてがオフになります。2つまたは3つのリピーターが必要な場合は、いいえ。5ダイヤルコードスイッチをOFF側にダイヤルします。同じボタンを押して転送した後、6秒後に有効になります; 4~6個のリピーターが必要な場合は、いいえ。5ダイヤルコードスイッチがON側にダイヤルされます。同じボタンを押して転送した後、12秒後に有効になります。具体的な構成については、以下の表を参照してください。

(注: 1~3ビットのダイヤルコードスイッチのうち、どのリピーターを設定するかは、累積量の影響を受けます。たとえば、最初は1をON側にダイヤルし、5番目は2と3をON側に設定します。残りは同じ方法で行うことができます。)



リピーター使用時のコードスイッチ設定を右図に示します。



4番目のリピーターをカスケード接続すると、ダイヤルコードスイッチの設定が右図に表示されます。



最初のリピーターをカスケード接続すると、ダイヤルコードスイッチの設定が右図に表示されます。



5番目のリピーターをカスケード接続すると、ダイヤルコードスイッチの設定が右図に表示されます。



2番目のリピーターをカスケード接続すると、ダイヤルコードスイッチの設定が右図に表示されます。



6番目のリピーターをカスケード接続すると、ダイヤルコードスイッチの設定が右図に表示されます。



3番目のリピーターをカスケード接続すると、ダイヤルコードスイッチの設定が右図に表示されます。

3. 中継送信機について学ぶ: コードスイッチ6と7をオンにして、次に、エミッターをトリガーし、SENDライトを2回点滅させて、成功を示します。学習を続ける場合は、学習する必要のあるエミッターを押します。ライトが点滅して、学習が成功したことを示します。学習後、7番目のダイヤルコードスイッチをオフ状態にします。この時点で、リピーターは学習した送信機のみを中継できます。
4. 学習したエミッターをすべて削除する: 電源を入れる前、または再起動後15秒以内に、ダイヤルコードスイッチ7と8がオンになり、SENDライトが3回点滅して、学習したエミッターがすべて削除されたことを示します。
5. 学習したエミッターを1つ削除します。コードスイッチ4と6をオン側にダイヤルし、学習したりリモコンをクリックします。ライトが3回点滅して、明確な成功を示します。続行する場合は、リモコンをクリックしてクリアします。クリアランスが完了したら、コードスイッチ4をOFF側にダイヤルします。

## ご注意

1. リピーターを設置するときは、アンテナを持ち上げて金属物や壁から離してください。
2. 本製品は防水仕様ではありませんので、室内に設置するか、防水処理を行ってください。
3. 受信機が信号を受信できない場合は、リレーが送信機の信号を受信できるかどうかを確認する必要があります。信号を受信されない場合は、リレーが送信機の信号を受信できるようになるまで、リレーを送信機に近づける必要があります。レシーバーの位置を再度調整し、レシーバーをリレーの近くに移動します
4. 電源要件: DC12V出力、出力電流> 300mA
5. プラグを差し込む前に、ダイヤルコードスイッチ7と8を同時にオンに設定しないでください。オンにすると、以前に学習したエミッターがすべて削除されます。



この無線機を使用する前に、このガイドをお読みください。このガイドには、安全に使用するための重要な操作手順と、該当する規格および規制に準拠するためのRFエネルギーの認識と制御が含まれています。

## 窒息の危険を避ける

小さな部品。3歳未満の子供は対象外です。

## 聴覚を保護する

- 仕事をするのに必要な最小の音量を使用してください。
- 騒がしい環境にいる場合にのみ音量を上げてください。
- ヘッドセットまたはイヤピースを追加する前に、音量を下げてください。



## やけどを避ける

### バッテリー (該当する場合)

- ジュエリー、キー、チェーンなどの導電性素材がバッテリーの露出した端子に触れると、電気回路が短絡してバッテリーが短絡する可能性があります)、熱くなり、火傷などの人身傷害を引き起こす可能性があります。特にバッテリーの取り扱いには注意してください。ポケット、財布、または金属製の物体が入った他の容器の中に入れます。

- トランシーバーを長時間の送信に使用すると、ラジエーターとシャーシが高温になります。

## 禁止

- 充電器を屋外や湿気の多い環境で使用しないでください。乾燥した場所/状態でのみ使用してください。
- 充電器を分解しないでください。感電や火災の危険があります。
- 充電器が破損または損傷している場合は、充電器を操作しないでください。

## リスクを減らすために

- 充電器を外すときは、コードではなくプラグを引っ張ってください。
- メンテナンスやクリーニングを行う前に、充電器をACコンセントから抜いてください。
- 修理とサービスに関するサポートについては、Retelessにお問い合わせください。

